

令和元年度 議会報告会（議員座談会）報告書



《目次》

会場別参加者数および担当議員-----	1
議会報告会（議員座談会）主要発言一覧-----	2
常任委員会などでの協議結果-----	11
アンケート集計結果-----	12

宗像市議会

令和元年度 宗像市議会 議会報告会（議員座談会）

会場別参加者数および担当議員

日時	会場	テーマ	担当議員 (◎班長)	参加者数（人）		
				男	女	合計
10月6日(日) 19:00～	赤間地区 コミュニティ・ センター	子育て支援	神谷建一 上野崇之	15	7	22
		高齢者が住みやすいまちづくり	◎岡本陽子 福田昭彦			
		まちの活性化	末吉 孝 伊達正信			
10月10日(木) 19:00～	南郷地区 コミュニティ・ センター	子育て支援	新留久味子 北崎正則	27	9	36
		高齢者が住みやすいまちづくり	吉田 剛 井浦潤也			
		まちの活性化	◎安部芳英 石松和敏			
10月11日(金) 19:00～	岬地区 コミュニティ・ センター	子育て支援	◎森田卓也 小島輝枝	19	7	26
		高齢者が住みやすいまちづくり	植木隆信 笠井香奈枝			
		まちの活性化	小林栄二 岩岡 良			
			合 計	61	23	84



議会報告会の目的について

宗像市議会は、宗像市議会基本条例の理念に基づき、市民の皆さんと議会とのつながりを深め、より一層の信頼関係を築くことを目的に、議会報告会（議員座談会）を毎年開催しています。

◆議会報告会（議員座談会）主要発言一覧

議会報告会（議員座談会）の中での発言を会場別、主所管部別に掲載しています。

※各会場で重複した発言などについては、調整してまとめています。

※複数の部にまたがるもの、分類することができないものは、市全体に関わるものとしています。

◇赤間地区コミュニティ・センター会場

【議会】-----

- ・議会報告会のテーマも含めて行政と議会との役割を明確にしてほしい。議員のまちづくりに対しての思いを聞きたい。
- ・請願の際、市民が直接意見を言えるようになったことについては、議会は前進したと思う。行政がつくった計画等をしっかりチェックするのが議会の役割だと思う。市民の声をよく聞き、行政へ伝えるのも議会の役割。
- ・野坂地区の太陽光発電施設に関する議案については3人の議員が反対し、そのほかの議員は賛成だった。議会でのチェックが無責任である。
- ・野坂地区、平井地区の太陽光発電開発現場を議員全員で見てほしい。世界遺産に登録され自然や環境の保護などと言っているが現状を見てほしい。平井では雨の日に土砂が流れ出している。
- ・世界遺産登録に向けてユネスコに出している計画の進捗管理について、祈願殿の撤去や世界遺産センターの建設など、財政上の問題もあるため議会がチェックしていく必要があるのではないか。予算の使い方も含めて議会でチェックを。
- ・福岡教育大学の運営についても議会で調査をお願いしたい。

【総務部】-----

- ・保育園や女性の働く場を拡充することは、市に入ってくるお金を増やすことにつながる。市役所でもパート職員を多く雇っているが、正規職員として責任もって働いてもらうこともできるのではないかな。
- ・地域安全課に確認したところ、宗像市民96,000人のうち緊急防災システムの登録者が3,500人である。せめて半数ぐらいの市民が登録する必要があるのではないかと考える。
- ・防災に関しては釣川の決壊を防ぐのが喫緊の課題ではないか。地元と協議し調整地をつくるなど早急に協議する必要があるのではないかな。
- ・宗像で時間雨量100mm以上が降ると防ぎきれない。想定して対処しないと大変なことになる。赤間駅や河東あたりは現に水に浸かっている。
- ・現在の防災マップの想定時間雨量は50mmである。水害に関しては、防災倉庫の場所（高いところに持っていく）も含めて見直しが必要では。
- ・避難所、トイレのあり方も含めて、もう少し大きな災害規模を見据えたところで市民の安全性を考え検討してほしい。
- ・行政にアセットマネジメントのプロ、技術職員の育成が必要である。

【経営企画部】-----

- ・アセットマネジメントを行うことで、まちの活性化にどのようにつながるのか。単に予算を削減してやっているわけではなく、ビジョンがあると思う。必要な施設はつくらないといけないし、維持管理も必要であると思う。
- ・定住補助金の取り組みで若い人に来てもらっているが、その人たちが働きやすい、住みよいまちにしていくべき。
- ・子育て世代がストレスを感じず、暮らしやすい社会をつくってほしい。
- ・子育て世代や子どもたちにまちに住み続けてほしいと考えた時、いったん宗像を離れてしまうようなサラリーマン世帯にも「戻ってきたい」と思ってもらえるようなまちにしていきたい。

【市民協働環境部】-----

- ・他市ではごみの戸別収集を行っているところがある。住民が市政の恩恵を受けていない。そのような部分に予算を使うべきであると思う。
- ・市民からの提案制度があるが、提案したけど受け入れられず、議員が質問したらそれが通っている。市民参画の制度が生かされていないのではないかと思います。
- ・世界遺産とまちづくりに関しては、最近は県が主導になっているようだが、市民の会の動きも含め、市が主導となるような動きはあるのか。

【健康福祉部】-----

- ・1人暮らし高齢者、閉じこもり高齢者の実態(数)を把握すべき。介護認定は1カ月で行うと決まっているのに、3カ月の時間を要している。早期に対応すべき。
- ・要介護者支援リストは区長、民生委員しか持っていない。一番近くにいる組長が持っていない状況である。個人情報重視するため、いざという時に活用できない。市がこのリストをどのように活用したいと考えているのか。どのように活用するのかを明確にすべき。
- ・高齢者に関して問題が起きた時には地域包括支援センターにお願いをするが、内容が多岐にわたり対応が困難であると思われる。もっと体制を強化すべきである。
- ・高齢者が住みやすいまちづくりに関して、自治会としてどのように取り組んでいくのか分からない。自治会だけでは判断できないから市に相談するが、市に要望を伝えればクレーム扱いになる。そのような市の対応を考えるべきでは。
- ・近隣の介護家族の状況を見ると、介護家族の怒鳴り声を毎日のように耳にする。介護家族の問題を解決すべきである。
- ・介護サービスの状況を伝える広報の内容が他市に比べて少ない。介護サービスの情報伝達のための広報を充実させるべき。

【産業振興部】-----

- ・一例ではあるが、免許返納を勧められる状況なのに、きらり商品券の取得場所が道の駅横(商工会)であった。免許を持たない高齢者に配慮した対応を取るべき。
- ・世界遺産を中心に観光などで活性化ができないものかと思う。
- ・世界遺産に登録されたが果たして外国人観光客は増加したのか。宗像市全域のWi-Fi設備の充実を。

- ・宗像歴史観光ボランティアに携わっているが、外国人観光客はかなり来ている。ただし、世界遺産についての観光客は当初から比べると半減したように感じる。
- ・赤間宿通りについて市の方向性が見えない。唐津街道の拠点である赤間宿をどのようにしていくのか明確に示してほしい。古いまちなみを保存していくには電柱は不要。
- ・地産地消で循環型のまちづくりを進めていく研究をしてほしい。

【教育子ども部】-----

- ・赤間学童保育所は土砂災害警戒区域に該当し、大雨時には赤間小学校内に避難することになるが、夏休み中や夕方に避難が必要となった場合、校舎が使えなかったり、教職員が帰宅し不在の時がある。厚労省と文科省の制度の垣根を越えて、対応を検討してほしい。
- ・保育士の給与向上を図ることで保育士を確保し、保育園が定数まで受け入れられるようにすべき。
- ・幼児教育無償化に伴って給食費の負担が増える場合もあると聞く。市独自で支援をすべきでは。
- ・虐待や育児放棄、貧困など、どう気づいていくか。地域から市に伝えてよいのか悩ましい。
- ・子育て支援の視点だけでなく、母親支援の視点も必要。例えば、夏休み中の「子どもの居場所」を地域でつくるなど、予算や大きな行事を企画しなくても、日常的に取り組める環境整備があってほしい。
- ・保育園の抽選に落選した母親が近所にいる。女性の雇用・復職や市税収入につなぐ視点から、0歳児からの保育行政を強化すべき。
- ・以前、宗像市でも子どもたちが荒れていた時期があったと聞いているが、現在はそのような状況はないのだろうか。子どもたちの進学率はどの程度か。
- ・建てかえることが決まった城山中学校についても構想設計等をしているが、丸投げしているような気がしてならない。アセットマネジメントを通して城山中学校の方向性についても議論してほしい。
- ・学校プールについては防災の観点から必要であるが、昨今の新聞記事で1学校1プールの必要性が問われている。そのあたりについての考えはあるのか。

【市全体に関わるもの】-----

- ・防災についての認識が市民、議員も含めて低い。防災訓練を行っても人が集まらない。災害が起こったとき、議員も含めてどのような対応をとるのか。
- ・前市長とも話したが、世界遺産は観光目的ではないと言われた。世界遺産の意義についての考えは。
- ・宗像は福岡市、北九州市の通勤圏であり、そのような観点からも暮らしを大事にすることでまちを活性化していくと。今は、世界遺産を中心とした観光まちづくりと言われている。世界遺産関連でつぎ込んだお金は道の駅の拡張なども含めて10億円以上だが、それに見合った税収はあるのか。
- ・観光等にお金をつぎ込むのであれば、学校教育や保育の充実、高齢者支援にお金を使ったほうが、暮らしを大事にしたまちづくりができ、宗像はいいなと思って住んでくれる人も増えるのではないかと。小学校、中学校の給食を自校式でやっているところは周りをみてもそうない。

- ・宗像市史は間違っていて何度も指摘を行った。そのことに対して行政、議員は動かない。
- ・平井地区の太陽光発電施設の工事については、市、県にはいいかげんな業者にさせてはいけないと言いつけた。市からは、許認可権は県にあるからと言われた。結果、1年以上放置されたままとなっている。
- ・防災問題、太陽光開発も含めて、釣川の流れ(水量)を考えた場合、水害の影響もあり、これ以上の調整区域(太陽光等)の開発に限界があるのではないかと。これ以上の太陽光開発を抑制するよう市議会としてもチェックをし、国、県に要望していく必要があるのでは。
- ・世界遺産を市の産業の活性化に結びつけるのはなじまないと思う。
- ・公共施設の在り方については行政、議会としても既存施設を長く使うことも含めて議論してほしい。
- ・安全安心のまちづくりについてはどこのコミュニティでも課題である。コミュニティでつくった計画をどう反映していくか。議会としても一生懸命取り組んでほしい。
- ・世界遺産とまちの活性化が曖昧になっている。世界遺産については行政、議会、市民で再度考えていく必要がある。

◇南郷地区コミュニティ・センター会場

【議会】

- ・報告会のとりまとめ(周知)はどのようにするのか。

【総務部】

- ・コミュニティバスは公共交通の空白地域に市民の足として配置されたが、もっと効率的なルートで運営できないか。
- ・コミュニティバスのルートの見直しは2年に1度となっているが、地域の実情を考慮し、もっと短いスパンで見直しを図ってほしい。
- ・コミュニティバスが赤字運営になっているとのことだが、収支決算を公表してほしい。
- ・モネ・テクノロジーズが主体となって、民間の連携によって交通弱者の解消が進んでいるオンデマンドモビリティサービスを本市でも連携が取れないか。県内では嘉麻市が連携をするようになっている。
- ・災害に対して、自治体間のネットワークのような助け合いはあっているのか。例えば、佐賀での水害に対して、市としてボランティアで職員の派遣などは行っているのか。
- ・災害について、自助・共助・公助と言われているが、公助は被害がないと対応してくれないので期待できない。しかし、自助・共助も高齢化で頼れなくなってきており心配である。他に対策はないのか。
- ・災害について、被害があると大きな予算が動くが、これからは予防的観点から、予算を使っても災害が起きないように対策が必要だと考える。
- ・病院に行くときにバスを利用するが、バス停に屋根や椅子を設置してほしい。
- ・昨年大雨で自宅近くのため池が決壊寸前だった。その関係で、今年は近くの河川の土砂が堆積していたが約20mだが取り除いてくれた。災害が発生してから対応するのでは遅く、事前に対応することが必要である。

【経営企画部】-----

- ・人口動態を考えて、どう子どもを増やすのかというところに力点を置き施策を検討して欲しい。若い世代を取り込む支援策が必要ではないか。
- ・毎年の事業計画に対して進捗状況を明確にしてほしい。KPI などの評価チェックを行い事業の見える化をお願いしたい。事務作業は RPA を活用して効率化ができるのではないか。

【市民協働環境部】-----

- ・老人会について、自治会の連携がなくなっている地区がある。コミュニティ全体の老人会のイベントでもその自治会だけ参加がなく、参加の自治会だけでお世話をしないといけなくなっている。今後、さらに高齢化が進むと、お世話ができなくなることが懸念される。
- ・老人会の集まりには多くの方々に参加してほしいと思う反面、高齢化がさらに進むと自治公民館だけでは狭すぎるので、今後が心配である。
- ・現在、行きたい場所の一つがコミュニティ・センターで、いろんなイベントや、友人との憩いの場所になっている。今後もコミュニティ・センターの充実が必要と考える。
- ・住民の意識が大事で、情報が住民にどのように伝達されているかが重要である。そのことで自治会加入率にも影響が出ていると感じる。定住化政策による転入時の市役所窓口対応において、戸建ての場合は自治会加入が必須としているが、賃貸アパート入居の場合は必須ではないとのことで、地元自治会は苦勞している。
- ・自治会加入について、賃貸アパートで自治会費を徴収しないのは問題である。オーナーには自治会費は負担していただいている。広報などのお知らせは配布していないのが現状である。

【産業振興部】-----

- ・ため池などの草刈りはどのように行われているのか。以前、個人で地元のため池の草刈りを依頼したが、何も返答がなかった。
- ・畑が荒れていて管理されていない耕作放棄地が多くなってきた。折角の自然豊かな景観に荒地があるのはよくない。農地の利用につなげられないか。
- ・世界遺産登録が実現してからは観光に偏りすぎているのではないか。まちの活性化の未来図がないのではないか。
- ・地産地消は活性化につながると考えている。宗像市は大豆が特産であり、テンペを開発したが利益が出ないため続かない。

【教育子ども部】-----

- ・0 歳児からの仕組みをつくるべきではないか。これは、宗像市の第一義的な重要な課題だと思う。民生委員として「赤ちゃん訪問」をすると「保育所の入所申込みは、いつすれば入所できますか」と必ず聞かれる。市として情報発信の工夫を。
- ・保育所入所の基準をはっきりさせるべきでは。希望した保育所に入れない「かくれ待機児童」が多いようだ。
- ・保育士の賃金が低すぎるのではないか。特に福岡市や北九州市などと比較しても賃金が安すぎて保育士にも人気がないのでは。

- ・子どもを持つ方々を対象に家賃補助制度がある。この制度で子育て中の世帯を呼び込んでも、その後の子育て支援策が少ない。
- ・保育園に保育士の資格がない中高年の方（子育ての経験がある方）が、朝夕の時間に「だっこボランティア」として支援している保育所もある。この方法で研修を受け、サポーター制度に取り組んでみたらどうか。
- ・子どもの居場所づくりについて、乳幼児を連れて行ける場所や小学生の居場所が少ない。無料で遊びに行ける「児童館」がなく、特に雨の日は使用できる施設が少ない。
- ・乳幼児の親子の遊び場は、メイトムしかない。しかしメイトムは交通の便が悪い。
- ・児童数が増えているのにプレハブ校舎で対応している学校がある。きちんと校舎を増築してほしい。

【市全体に関わるもの】-----

- ・本市には総合病院がないが、総合病院の誘致はできないか。
- ・行政に対して、スピード感ある対応をもっとしてほしい。もっと事業の結果や課題を公表してほしい。
- ・通学路の安全対策について、子どもたちを守るためにどういった対策がいいのか。できればさまざまな対策をとってもらい、この野坂地区が市内のモデル地区になるような対策をのぞむ。
- ・野坂地域の県道の制限スピードが 40 キロから 50 キロの速度制限に変更になった。交通量も多く、小中学校の子ども達の通学路の安全性の確保が難しくなっている。また県道が S 字カーブになっていて、横断歩道の表示が薄くなり見えにくい。
- ・表示が消えかかっている横断歩道は 2 色の横断歩道など検討してほしい。S 字カーブの「新町」の所に「通学路注意」「危険」などの立て看板等を設置してほしい。宮田橋の交差点も通学路だが、危険なところも多く、児童数も増えているので有効的な表示など検討して欲しい。
- ・南郷地域においても、国道 3 号周辺の渋滞が多くなり苦労している。交通アクセスをスムーズ（3 車線化）にすることで活性化につながると考えている。
- ・保育所問題について、保育所問題を考えるベースは何か。女性が働けるような状況になっていない。パート雇用が多い。女性の生産性を高める施策が必要ではないか。
- ・地域の子育て中の女性は、1 人目の子どもが保育所に入所できなかった。そして 2 人目も「育休中で就労していない」という理由で入所できなかった。女性が子育てしながら、働き続けられる施策を講じてほしい。
- ・宗像市は景観に配慮しているというが、野坂や平井の太陽光発電所の開発は、工程等が不明である。どうなっているのか。
- ・高齢化が進んでいる地域、また公共交通のルートが少ない地域では移動手段が少なく、買い物難民が増えている。例えば鐘崎マルシェのような、定期的に来てくれる移動スーパーがほしい。行政と民間スーパーとで連携を取って対策はできないか。
- ・まちの活性化は、まず「きれいにする」ことから始めることが大事。最近河川の清掃が進んでいないと感じる。
- ・農家は以前は出方をしていたが、最近農家の減少や高齢化に伴い、河川等の清掃がなかなかできなくなっている。

- ・無償ボランティアでは長続きはしないので、有償ボランティアとして活動してもらうほうが良いのではないかと。
- ・最近、SNSを活用しているが、多くの宗像市議会議員の SNS を閲覧することもあり、いろいろな情報も入手できており、返事を返すこともある。SNS の活用により活性化できるのではないかと考えている。また、最近は市職員も仕事が丁寧で早くなったと感じている。

◇岬地区コミュニティ・センター会場

【議会】-----

- ・子育て支援がテーマなのに、開催が夜の 7 時ではなかなか参加しづらいのでは。例えば平日の朝 10 時から 12 時まで託児所を設けて市役所などで開催できないか。

【総務部】-----

- ・大雨や水害の時など多量のごみが流れてきて大変だ。すごい量のため自治会で対応しきれない。県や市の対応がほしい。

【市民協働環境部】-----

- ・「はまゆう会」が地元でとれた魚や野菜を使って毎月 1 回弁当をつくり 50 人に配布している。12 人～13 人の無償ボランティアの活動で助かっている。
- ・東郷コミセンは、空いてる部屋（会議室）を子どもたちのために無料で開放してくれていた。他のコミセンでもできないか。

【健康福祉部】-----

- ・鐘崎に診療所が無くなり、病院に通うのも大変だ。週 1～2 回でも診療所が開いてくれると助かる。
- ・自由ヶ丘では高齢者がなかなか集まらない。生きがいを見つける行事が大事だと思う。（自由ヶ丘からの参加者）
- ・介護保険料が高い。下げられないか。

【都市建設部】-----

- ・現在の都市計画上では、上八に土地を持っても家を建てることができない。当時からの環境変化もあり、再度書類等を提出することにより、土地の活用ができるようにしてほしい。
- ・織幡神社に行く場合、大型車が通れないので、道路の拡張が必要ではないか。

【産業振興部】-----

- ・鐘崎広場に於て、試験的にバーベキューを行った。結果として収支は赤字であったが、この経験を生かし、夏に「海の家」を開けるようにしてほしい。埋立地の活用は、単発的なイベントだけでなく、継続的に行わなければ活性化しないのではないかと。下水が完備されていないことも課題である。

- ・ さつき松原の歩道の草刈りができていない。県への要望をしてほしい。
- ・ 漁業従事者の高齢化と後継者問題がある。
- ・ 活性化の概念は、ただ人が来るだけではない。宿泊客などを獲得し滞在させることによって活性化は成る。そのためには一次産業の活性化が重要。漁師体験などを PR し、早朝から観光客を獲得でき、それを目当てとする宿泊客の獲得を目指したい。計画的に事業を見直しながら進めてほしい。
- ・ 鐘崎地区においては特に、人口が減少していることが大きな問題である。人口減少に歯止めをかけるためにも、荷さばきゾーン、活魚センター、織幡神社などを有効活用し、それに付随した新しい産業が鐘崎地区には必要である。
- ・ 鐘崎の活性化を考えると、他市のまね事では勝つことはできない。農業・漁業・観光を組み合わせた、鐘崎らしい活性化構想が必要である。そのためにも、目標を定め、その進捗状況を数値化し、目に見えるようにすべきである。
- ・ 上八にも多くの耕作放棄地がある。後継者がいないことが大きな問題ではある。この問題を解決すべく、一部農業者においては、これらの耕作放棄地を管理し生かそうとする動きもある。しかしながら、土地所有者と管理契約を行う際、地権者に年貢を納める風習が残っており、この状況では新たな耕作管理者にとっては重荷となっている現状がある。また、新たな耕作管理を行う際に、本来は儲けが出やすい「小麦」や「大豆」をつくりたいが、儲けることができない「米」を作らなければならないという課題がある。これらの課題を解決すべく、JA の中間管理機構とも調整を行ってほしい。

【教育子ども部】-----

- ・ 令和元年度の市の子育ての方向性や予算は。子育てに困っている人に手が行き届いているか。行政の無駄を減らし、子育て支援にあて、宗像に住んでよかったと思えるまちにしてほしい。
- ・ 子育ての主要な時期、検診のある 4 カ月、1 歳半などからみっちり行政がかかわるべきでは。この人だったら相談できると思ってもらえるような信頼関係を最初の検診時にしっかり築けるよう頑張してほしい。また、幼少時から小学校入学時への申し送りをしっかりしてほしい。
- ・ 高校を中退した子への関わりや、現在引きこもっている 18 歳から 25 歳くらいを対象に第 2 の子育て支援を行ってほしい。また、学校へ行けない（行かない）子が集える場所を身近なコミュニティに整備してほしい。
- ・ 元学校の先生や有能な OB の方を活用し、子育てに困っているお母さんに寄り添えないか。
- ・ 子育てに関わる職員さんの受け持ち件数や訪問にあてられる時間は適切か。単なる訪問に終始していないか。
- ・ 子どもたちの学力はどうか。勉強はできるようになると面白いと感じる。コミセンで実施している寺子屋を見習ってほしい。ボランティアを活用して、学校の教材やドリルのみを教えるといった条件をつけて実施してはどうか。塾に行かなくてもいいように、子どもたちを学習させる環境を。
- ・ 赤間、吉武の学童の成果をもっと PR してほしい。他地区へも広げてほしい。

【市全体に関わるもの】-----

- ・近くに商店がないため、今から先はもっと大変になる。心配だ。
- ・月1回地元の朝市（鐘崎マルシェ）があるが、食料品も少なく顧客も限られている。
- ・問題を抱えている方が、市外に出た場合の他市への引き継ぎをしっかりとしてほしい。
- ・子どもを身近に預けられる場所の整備を。市役所や各コミセンに開設してはどうか。
- ・将来のため子どもたちにお金を使ってほしい。周りの大人たちが、しっかりと子育てに関わるような場所をつくってほしい。
- ・冬場12月～2月の間に子育てサークルなどの交流会をしてはどうか。コミュニティを活用して元気なお年寄りを巻き込んで、子育てをしてほしい。
- ・糸島には移住者が多いのに、宗像には移住者が少ない。その原因はPR力の弱さとお洒落感のなさではないか。女性目線からも、デートスポット的なものが必要であり、HPの多言語化などの施策の前に、もっと他市の方から興味をもってもらうことが必要だ。ラグビーなどのスポーツ観光をもっと生かすべきだ。
- ・森林管理制度によって林地の管理委託ができるが、このような制度を利用して林地に企業を誘致できるよう働きかけてほしい。
- ・宗像らしさを生かす活性化のチャンスはたくさんある。1年後に解凍しても生で食べることができるリキッド冷凍の技術を活用することや、「モンベル」がスポーツ体験を売り出していたり、大分の湯治がそうであるように、「体験」を売ることで集客は見込める。また宗像国際環境100人会議でも議論された「海のゴミ」を活用した、新しいビジネスも可能性がある。
- ・鐘崎の活性化という視点では、海などの自然豊かな環境は別荘地としての魅力もあると思うので、癒しという視点からもPRすべきではないか。また、鐘崎には若者が集う場所がない。若者にとっての活性化は課題である。
- ・宗像市全体として、少子高齢化を前提とした場合の人口政策には限界がある。また、宗像市の歴史認識も間違っており、訂正すべきである。

◆常任委員会などでの協議結果

参加者の皆さんからいただいた意見をテーマ別に3つの常任委員会（総務、社会、建設産業）に分け、各委員会で協議しました。その結果、以下のとおり市への意見、また議会として取り組みを行っています。

1 市への意見

（１）公共交通施策の充実について

ふれあいバスやコミュニティバスの運行により民間のバス路線の空白地帯を補っているが、地域によって公共交通の利便性に大きな差が生じている。バス路線だけではなく、さまざまな手法による地域に適した公共交通の在り方の検討を要望する。

（２）赤間小学校学童保育所の防災対策について

学童保育所は土砂災害警戒区域内に設置されており、雨天時には赤間小学校校内に避難している。しかし、休業期間中や教員が不在時においては、避難が必要であっても校舎を使うことができない状況である。子どもたちの命を守るため、緊急時の避難場所を十分確保できるよう要望する。

（３）子育て支援におけるボランティアの活用について

保育事業の一部に地域のボランティアを活用しているところがあるようである。この取り組みを市が支援することで、保育士が多忙となる時間帯の事故防止、第三者の目による事業の監視、改善に役立てることができないかと考える。併せて、保育所の施設等を活用した地域による子育て支援の在り方の検討を要望する。

（４）高齢者対策について

鐘崎地域は医療空白地域であり、出張診療所の仕組みを整えるよう要望する。

（５）介護保険制度について

介護認定に要する期間の短縮や、要支援者リストが地域で活用できる仕組みを要望する。

（６）市民への情報の周知について

災害時の避難情報、各種手続き、行政案内、市民主体で行われている取り組みなどが広く伝わっていない状況にあるため周知方法の改善を要望する。併せて、市役所窓口での対応の更なる充実を要望する。

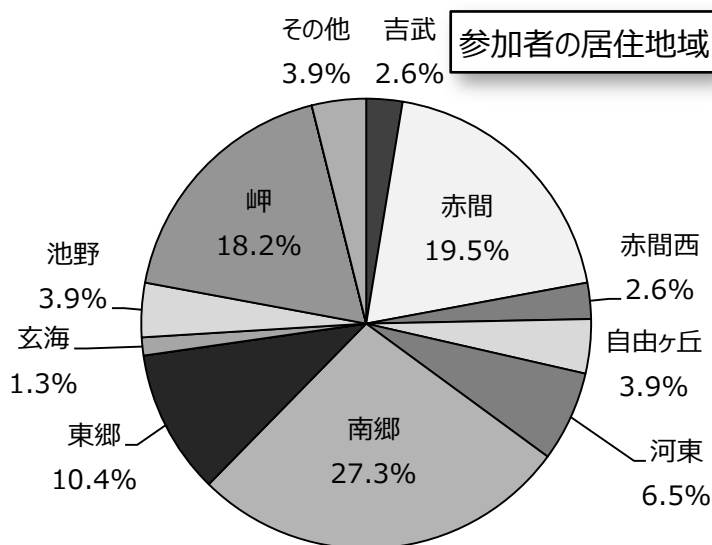
2 議会での取り組み

- ・子育て支援に対する意見については、同時期に開催した総務常任委員会（所管事務調査）の中で協議を行い市に対し提言を行った。（総務常任委員会所管事務調査：9月～12月）
- ・河川の氾濫や浸水、土砂災害等による市民生活への影響および農作物の被害等も想定されることから、河川、調整池、ため池等の現在の状況についての勉強会を行った。今後も引き続き注視していく。（建設産業常任委員会勉強会：12月）
- ・大規模太陽光の開発の現状確認について、議員全員、また有志による現地視察を行う必要があるのではないかという意見が出された。協議の結果、会派を超えた有志議員にて現地視察を行うこととした。（日程については調整中）
- ・議会報告会の在り方については、テーマ、場所や時間、対象者のニーズに叶うものが何かを含めて検討していく。

◆アンケート集計結果

◆参加者数およびアンケート回収数 (アンケート回収率：91.7%)

会場	参加者数	アンケート
赤間	22	21
南郷	36	32
岬	26	24
総計	84	77
(参考：H30)	47	43



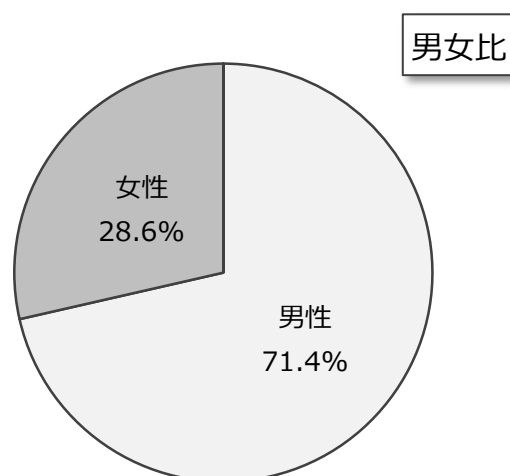
1 あなたのお住まいの地域はどちらですか

会場	吉武	赤間	赤間西	自由ヶ丘	河東	南郷	東郷	日の里	玄海	池野	岬	大島	その他	無回答	合計
赤間	2	10	1	2	3		2						1		21
南郷		1	1		2	21	6						1		32
岬		4		1					1	3	14		1		24
総計	2	15	2	3	5	21	8		1	3	14		3		77
(参考：H30)	1	4	3	10	1		1	11	5	7					43

2 あなたの性別は

会場	男性	女性	無回答	総計
赤間	15	6		21
南郷	23	9		32
岬	17	7		24
総計	55	22		77
(参考：H30)	37	10		47

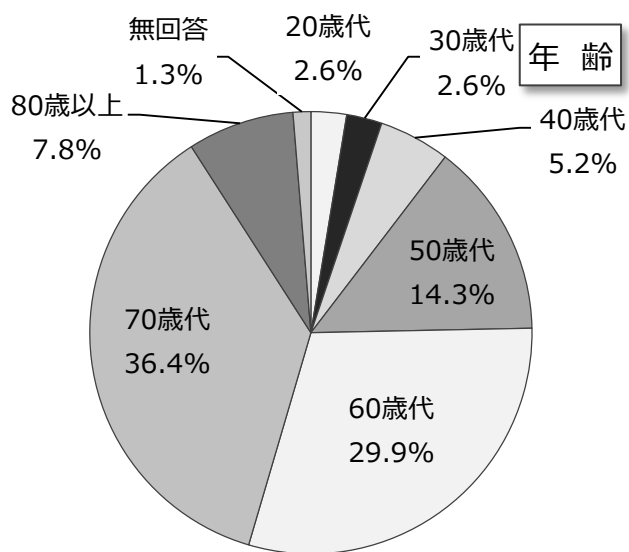
(実数)



※端数の関係で、合計が100%にならない場合があります。

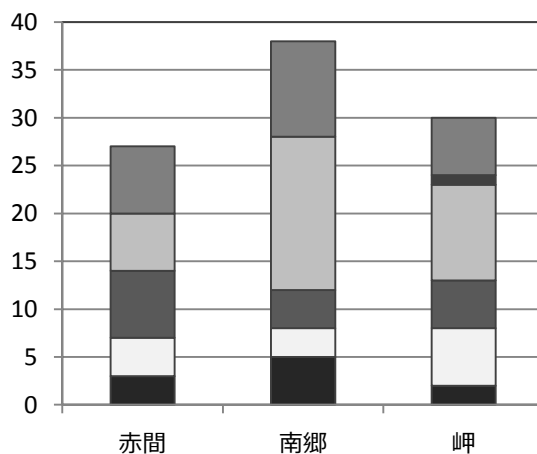
3 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか

会場	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答	総計
赤間				1	3	6	10	1		21
南郷		1	1		2	12	13	2	1	32
岬		1	1	3	6	5	5	3		24
総計		2	2	4	11	23	28	6	1	77
(参考：H30)			1	2	4	22	12	2		43



4 あなたは今日の議会報告会を何で知りましたか（複数回答可）

会場	1	2	3	4	5	6	無回答	総計
赤間	7		6	7	4	3		27
南郷	10		16	4	3	5		38
岬	6	1	10	5	6	2		30
総計	23	1	32	16	13	10		95
(参考：H30)	24	1	12	4	1	7	1	50

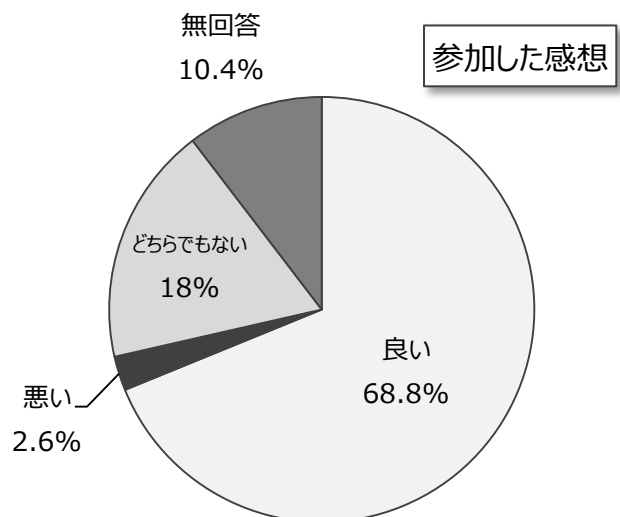


情報取得手段

- 1 市広報紙
- 2 市ホームページ
- 3 コミュニティ広報紙
- 4 ポスター、チラシ
- 5 議員からの紹介
- 6 その他

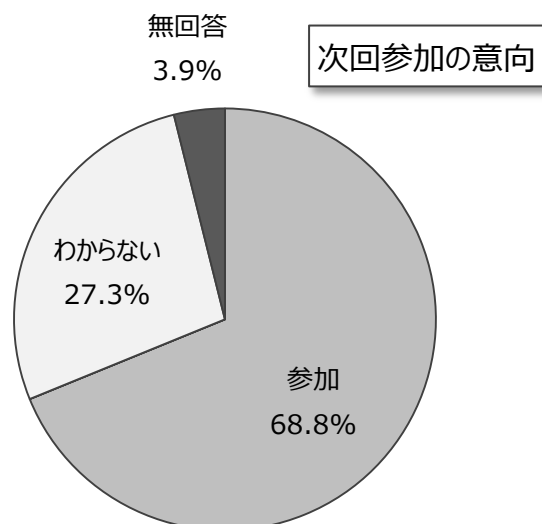
5 今日の議会報告会に参加された感想は

会場	良い	悪い	どちらでもない	無回答	総計
赤間	16		4	1	21
南郷	16	2	8	6	32
岬	21		2	1	24
総計	53	2	14	8	77
(参考：H30)	29	3	8	3	43



6 次回も議会報告会に参加されますか

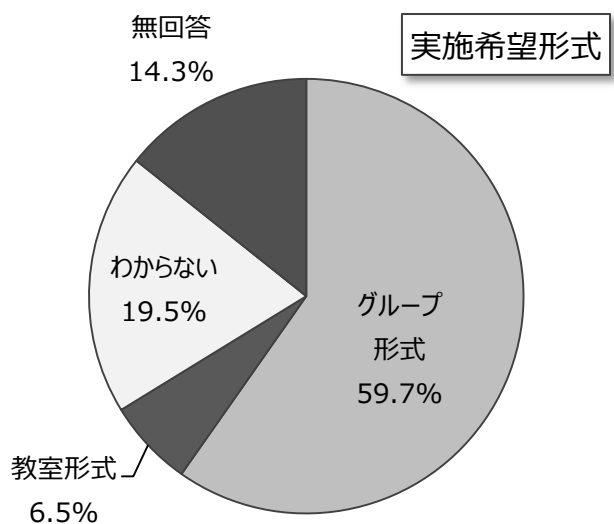
会場	参加	不参加	わからない	無回答	総計
赤間	16		4	1	21
南郷	21		9	2	32
岬	16		8		24
総計	53		21	3	77
(参考：H30)	30	1	11	1	43



7 実施形態は、どちらがいいですか

1 グループ形式 2 教室形式 3 わからない

会場	1	2	3	無回答	総計
赤間	11	1	2	7	21
南郷	23	2	6	1	32
岬	12	2	7	3	24
総計	46	5	15	11	77
(参考：H30)	27	5	8	3	43



8 議会報告会（議員座談会）についてご意見等があればご記入ください

【赤間地区コミュニティ・センター会場】

- ・一番生活に接するごみ問題（戸別収集）が良い方向に行くように期待しています。市民が助かると思う。実現してほしい。
- ・①Wi-Fi の充実、宗像全体を結ぶ方向で。②防災認識の向上。緊急情報伝達システム加入者はわずか全人口の 3,500 人。③キャッシュレス決済の促進は？韓国 96%、世界平均 50%、日本 18%、宗像は？
- ・結果の話ではなく、予算作成の段階から市民参画が可能な仕組みづくりが必要であると思う。
- ・このような会合に参加する人たちは、一言ある人たちが多いように感じた。意見を議会としてどこまで行政に反映させることができるのか。
- ・時間的にも住民にしっかりと意見を聞くという姿勢が十分ではないと思います。議会としてせっかくこうした機会を設けているのですから、住民の意見をとことん聞くということが必要だと思う。
- ・次につながる意見交換にしてほしい。個人の発言に終始した感があり少し残念に思った。
- ・参加者が非常に少ない。市民をいかに参加させるかが本質的な第一要件である。
- ・先輩方のお話を聞けてとても勉強になりました。
現実的にはまだまだわからないことばかりで
少しずつ関わっていけたらと思いました。
- ・さまざまなご意見が聞けて良かったと思います。
また機会があれば参加したいと思う。
- ・いろんな方の意見が聞けて良かった。議員と
身近に話すことができて良かった。
- ・議会の前と後ですと議案に反映ができて良い
のでは。若い方にも参加してもらえる時間帯を
考えては。



当日の様子
(赤間地区コミュニティ・センター)

【南郷地区コミュニティ・センター会場】

- ・初めての参加。宗像に来て 1 年。市民の皆さんの意見を聞く機会としては良かった。趣旨を外れ熱い市民側からの報告会になっているのが残念。未来を担う若者だけの集いで時間を設けてはいかがでしょうか。
- ・地域によって実情が全く違う中での議論は難しいと思う。テーマで分けるのではなく、街（都市）、団地部、農村部、過疎部で分けるのも一つの方法ではないかと思う。
- ・他地区の話ばかりで南郷の話が出せなかった。南郷の人だけで開催してほしい。
- ・アパート、マンション住居と、田舎のほうとは環境が違うため話が合わない。

- ・南郷地区に対しての報告会と思っていたが半数が他地区から来られていた。
- ・議会報告会の議事録を発行してください。まちの活性化の進め方については、たたき台がないと話が進まない。次回は事前の準備を願いたい。
- ・アイデアを KJ カードに記入し会議を進めてほしい。
- ・意見交換というより不満を言う会になってしまったような気がする。建設的な意見交換ができる会となるべきと思う。議員に対しては日頃の活動をお願いしたい。
- ・南郷地区以外の方が意見が多く時間を使っている。まちの活性化がテーマだったがよく理解できていないまま終わった感が強い。その地区の人が話せる工夫があればよかった。女性がいらっしゃったので男性だけではなく多くの意見を求められたら良かったと思う。
- ・他地域の方が来られるのは良いことなのでしょうが、会場地域以外の話をされると話が聞きづらかった。
- ・時間が短かったので 2～3 時間かけてグループ形態を考えていただきたい。高齢者関連のテーマであったが、子どもと高齢者のふれあいが課題と思う。
- ・さまざまな意見を聞くことができ勉強になった。多くの方が自分の住んでいる地域、市に関心を持ち動き出すことはとても大切なことだと思います。議員、行政、市民がそれぞれの役割をしっかりと果たしていくと良いまちづくりが進んで行くと思います。
- ・テーマがボケてしまっている。
- ・南郷の問題から外れた提案もあり意見しにくい雰囲気だった。
- ・高齢者が住みやすいまちづくりに参加した。他地区の問題・課題がよくわかった。ふれあいバス等での移動問題、災害時の対応策など。
- ・地域ごとに抱えている問題が違うので直接市民の話を聞いてほしい。
- ・テーマに関して参加者 1 人 1 人に質問していく形式にしてはいかがか。何について聞きたいか、自分にできることは何かなど。
- ・まちの活性化についての協議が具体的にどうしたいのか、行政がどうしてくれるかが問題になっているが、個人が協力しあうことが大切だと思う。
- ・直接議員と話ができて良かった。市の現状が分かり問題意識がもてた。
- ・仕事を退職し時間ができればいろいろなことに協力できるのかなと思った。



当日の様子
(南郷地区コミュニティ・センター)

【岬地区コミュニティ・センター会場】

- ・ 農業についていろいろな意見が言えたので良かった。
- ・ 異業種の会合で面白かった。
- ・ 事前にテーマをお知らせいただければ良い案も準備できた。でも良い話ができた。
- ・ 初参加ですが熱心な人たちばかりで勉強になった。池野出身で鐘崎の人と話げたのは懐かしく感じました。議員が他地区の市民と意見交換するのは非常に良いと思う。
- ・ 意見を持ち帰った後の結果報告をいただきたい。
- ・ テーマ別の会議は有意義だった。
- ・ まちの活性化について、買い物難民対策など。
- ・ 岬地区の活性化に向けいろいろな意見や要望がでた。ぜひ実行できるよう行政も予算計上できるようお願いしたい。
- ・ 岬地区でのまちの活性化においてどのような課題があるのか学ばせていただいた。まちの活性化が成功すればほかの課題を解決する予算を確保できるかと思うので、宗像市には頑張ってもらいたい。
- ・ 子育て支援については座談会を昼間に開催されると良いと思う。夕方、夜は外出しにくい。議員さんとの語らいは大切である。
- ・ 今後少しずつでも良くなっていくことを期待しています。
- ・ よかった。映像などでわかりやすくすると良いかもですね。
- ・ 多様な意見を聞くことができた。
- ・ 高砂会へ市からの助成を。地球温暖化と水産業の問題。
- ・ 土地の件で質問をした。
- ・ よかった。またお願いします。
- ・ 頑張ってください。



当日の様子
(岬地区コミュニティ・センター)

ご参加いただきました市民の皆さん
貴重なご意見、ありがとうございました。